

はちのへ



のうぎょうだより



令和8年新年号 No.567

のうぎょうだよりは八戸市農業委員会のほか、市内農協各支店でも配布しています。また、インターネットではフルカラーでご覧いただけます。
〇八戸市ホームページ
<https://www.city.hachinohe.aomori.jp/>

のうぎょうだより

Q 検索



八戸市農業委員会
会長 篠田 悅子

新年のごあいさつ

新年おめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より農業委員会活動に対しまして、特段のご理解、ご支援とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国内農業、とりわけ米をめぐる状況が大きく揺れ動いた一年となりました。小売価格の高止まりは、引き続き国民の大好きな関心事であり、米を主食とする我が国にとって、生産者・消費者双方の生活に直結する極めて重要な課題となつております。こうした中、政府においては、米をめぐる課題の解決に向け、令和9年度からの水田政策を抜本的に見直すとの方針が示されました。

さらにも、農業全体を取り巻く情勢につきましても、高齢化等による農業資材の価格高騰が依然として続き、生産現場は非常に厳しい状況にある一方で、

頻発する国際紛争や貿易摩擦の影響により輸入穀物の供給や価格安定に関し不透明感が増すなど、食料安全保障に対する懸念が深まる中、国内の農業生産基盤が再評価されております。

持続的な農業を行い、食料安全保障実現を目指し、次世代の担い手へと農地を繋いでいくためには、将来を見据えた確固たる地域農業のビジョンの下で取組を進める必要があると考えます。

八戸市においても令和6年度に地域農業の指針となる「地域計画」が策定されました。今後は、農業者の皆様、各種団体等の皆様とこれまで以上に連携しつつ、地域農業の実情に応じ、この計画の完成度を高めていくことが重要であると認識しております。

農業者の代表機関として農業委員と農地利用最適化推進委員が一丸となり、農業者の皆様のご期待に応えることができるよう、誠心誠意努めてまいりました。存でございます。

結びに、本年が天候に恵まれ、実り豊かな一年となりますよう、併せて農

業者ご家族の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしく
お願いいたします



謹賀新年

八戸市農業委員会
会長 篠田 悅子
同職務代理者 馬場 明戸
運営協議会委員 谷地 正人
齋藤 浩秀
加藤 幸典
職員一同 豊勝典

謹んで新年のご祝詞を申し上げますとともに、皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

農業所得申告は後継者名義で!
特例付加年金受給者の方へ

農業所得の申告時期が近づいてまいりました。後継者へ農業経営を移譲し、経営移譲年金または特例付加年金を受給している方は、農業所得に係る申告を後継者名義で行う必要があります。

受給者名義で申告した場合、経営移譲年金・特例付加年金が支給停止となりますので、確認の上で申告してください。

農業委員・農地利用最適化推進委員 募集のお知らせ

農業委員及び農地利用最適化推進委員が令和8年7月に任期満了となります。

八戸市と八戸市農業委員会では、次の任期の両委員の候補者の公募を行いますので、農業行政に興味のある方はご応募ください。

募集期間 令和8年2月1日（日）から令和8年2月28日（土）まで

応募方法 「農業者や農業関係団体などからの推薦」または「自らの応募」で下記お申込先まで

	農業委員	農地利用最適化推進委員
職務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農地法その他法令に基づく農地の権利移動等に係る審査のための会議出席 ・農地所有者の意向把握と地域の話し合いへの参加 ・農地利用最適化推進委員と連携し、「農地等の利用の最適化の推進」を図るための活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当する区域において農業委員と連携し、農地の権利移動等に係る聴取り調査及び会議での報告 ・遊休農地の発生防止・解消に向けたパトロールや担い手への農地利用の集積・集約化、新規参入の促進など「農地等の利用の最適化」を推進するための活動
対象	農業に関する識見を有し、農地法等の法令業務その他農業委員会の所掌する事項などに関し、その職務を適切に行なうことができる人	「農地等の利用の最適化の推進」に熱意と識見を有し、担当する区域内での農地集積・集約化に向けた話し合いの推進など現地活動ができる人
募集人数	19人	22人（次の担当区域ごとに募集） 市川・下長地区……4人 上長・豊崎地区……4人 館・是川地区……4人 大館・南浜地区……4人 南郷地区……………6人
任期	令和8年7月15日から 令和11年7月14日まで	令和8年8月中旬から 令和11年7月14日まで
報酬	月額 45,200円	月額 45,200円

※ 上記以外にも応募要件がありますので、手続の詳細については、農政課・農業委員会・南郷事務所の各窓口で配布する募集要項をご覧ください。募集要項は八戸市ホームページからもご覧いただくことができます。

お問合せ・お申込先

八戸市農林水産部農政課、八戸市農業委員会事務局

〒031-8686 八戸市内丸一丁目1-1 市庁別館7階 電話：43-9253

農業委員会では、10月22日から23日まで視察研修をおこないます。視察研修の内容について、参加委員のレポートをお伝えします。

○有限会社伊豆沼農産

- ・農山漁村における課題として、少子高齢化・担い手不足を挙げていたが、まずは地域に必要な「コト」を考え、高齢者の知恵と技術を活かして若い担い手を育てるという部分は、今後、自分で担い手を育成する活動に役立てたい。
- ・職業としての農業を考えると、夢と現実の狭間で思い悩むことが多いと思うが、一次産業から附加值を高め、所得向上を目指して六次産業化した行動力に感銘を受けた。日々の作業に追われながら、販路開拓等に時間を割くことはなかなか難しい。そのような中、幸せに繋がるものと思う。

1982年という早い段階から、高付加価値型経営へと経営方針を定めており、創業者の物作りへの情熱が感じられた。

視農業研究修報員告会

○農研機構 東北農業研究センター

- ・農地を集約し、多くの面積を耕作するためには省力化が必要であり、そのうえで直播栽培は有効と思う。しかし、除草剤の使用回数の増加は消費者ニーズにそぐわない面もあり、難しいところである。
- ・どの技術においても、機械等への投資が必要であり、農家の所得安定が欠かせない。

施肥方法でありながら実用性が高く、地域への普及が進めば省力化と収益性の両立が期待できると感じた。

行程表

10/22

宮城県登米市

■有限会社伊豆沼農産

視察内容：①特徴的な事業内容及び今後の展望について
②「農村の産業化」を掲げた取り組みについて

10/23

岩手県盛岡市

■農研機構 東北農業研究センター

視察内容：ICT 技術活用や高度機械化など、新たな栽培技術による水田作の効率化・高収益化に資する知見について

ご協力いただいたみなさまありがとうございました。

令和7年度第2回八戸市農業講座

農業の生産性の向上と経営の安定を図るため、農業の優れた知識や新たな技術を紹介する講座です。

申込みは不要です。お気軽にご参加下さい！ 会場：農業経営振興センター



日時	内容	講師
1月 26日（月） 13：00～14：30 (90分)	○鳥獣対策 狩るより刈って電気柵（野生獣に負けないぞ、岩手県の事例報告）	農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー 岩手県農林水産部農業普及技術課 中森 忠義 氏
1月 26日（月） 14：45～16：15 (90分)	○気象 続く猛暑、どうなる令和8年八戸の天候	株式会社吉田産業海洋気象事業部 所長（気象予報士） 田嶋 研逸 氏
1月 27日（火） 13：00～14：30 (90分)	○土壤 国内肥料資源を活用した環境にやさしい農業の実践	東京農業大学名誉教授 全国土の会 会長 後藤 逸男 氏
1月 28日（水） 13：00～14：30 (90分)	○有機農業 有機農業で得た栽培技術	一般社団法人MOA自然農法文化事業団 東北支所 支所長 清水 幸一 氏
1月 28日（水） 14：45～15：45 (60分)	○農福連携 農業と福祉の協働が生む価値	社会福祉法人ユートピアの会 事務長 沼田 智美 氏 なんごうゆめファーム代表 鈴木 正樹 氏

お問合せ 農業経営振興センター

〒039-1101 八戸市大字尻内町字毛合清水 29

☎0178-27-9163

